

情報処理科

情報系資格対策講座1

| | | | | | | | | | | | |
|------|----------|-----|----|----------|---|----|----------------------------------|-----|----|----|---|
| 対象 | 1年次 | 開講期 | 前期 | 区分 | 必 | 種別 | 講義 | 時間数 | 30 | 単位 | 2 |
| 担当教員 | 塚本、齋藤、大島 | | | 実務 経験 | 有 | 職種 | システムエンジニア（塚本、大島）、 運用エンジニア（齋藤） | | | | |

授業概要

情報処理技術者試験、ベンダー資格などの各種検定試験対策を行います。

到達目標

ガイドラインとして習熟度を測り、能力を証明するために情報活用検定3級、2級の合格を目標とする。情報社会で活躍できる実践的スキル習得のため、情報の理念を理解し、経営戦略とシステム戦略の基礎知識、プロジェクトマネジメントに関する基礎知識、パソコンの基礎知識、インターネットの基礎知識、アプリケーションソフトの基礎知識を身に着けることを目標とする。

授業方法

情報活用検定3級の試験範囲から解説し、6月上旬に受験する。その後、情報活用検定2級の試験範囲を解説し、7月中旬に受験する。全員が情報活用検定2級に合格することを目標に、試験範囲の講義に加え、過去問演習、解説を行う。習熟度確認のための小テスト、e-ラーニングによる家庭学習課題等、授業の進捗に合わせて適宜実施し、評価に組み入れる。また、前回の講義内容を理解し習得済みであることを前提とした講義を行う。

成績評価方法

試験と課題、理解度確認の小テストを総合的に評価する。授業参加度、授業態度も評価に含まれる。

履修上の注意

教科書を忘れずに持参すること。資格試験は、講義時間内の学習だけでは合格困難であり、学生自身が主体的に自宅学習を進めることができが肝要である。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応をする。理由の無い遅刻や欠席は認めない。講義に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーを守ることを求める。（詳しくは、最初の授業で説明。）授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

教科書教材

J検情報活用1級・2級完全対策公式テキスト

| 回数 | 授業計画 |
|-----|----------------|
| 第1回 | ガイダンス 情報表現について |
| 第2回 | 情報と情報の利用 |
| 第3回 | コンピュータの種類と動作原理 |

| | |
|--------|----------------|
| 第 4 回 | ネットワーク (1) |
| 第 5 回 | ネットワーク (2) |
| 第 6 回 | アプリケーションソフトの基礎 |
| 第 7 回 | 表計算ソフトの仕組み |
| 第 8 回 | 情報モラル、セキュリティ |
| 第 9 回 | 経営戦略とシステム戦略 |
| 第 10 回 | プロジェクトマネジメント |
| 第 11 回 | 過去問題演習 (1) |
| 第 12 回 | 過去問題演習 (2) |
| 第 13 回 | 過去問題演習 (3) |
| 第 14 回 | 過去問題演習 (4) |
| 第 15 回 | 過去問題演習 (5) |